WARPSTARΣシリーズ、WARPSTARシリーズ
ダイヤルアップモード設定ガイド

WARPSTARΣシリーズ(WB65DSL/WB55TL/WB45RL)、WARPSTARシリーズ(WL50TL/WB50T/WL30A)に次のファームウェアとユーティリティをインストールしてお使いになる場合は、従来のVer5.xx以前のユーティリティとは操作方法が大きく異なります。

Windowsの場合　：　ファームウェアVer6.02以降およびユーティリティVer6.21以降
Macintoshの場合：　ファームウェアVer6.02以降およびユーティリティVer4.21以降

ユーティリティVer6.21の基本操作方法は、AtermWDR85FHの取扱説明書と機能詳細ガイドを参照してください。(一部、画面デザインや操作方法が異なる部分があります。)

ここでは、上記機種にてダイヤルアップモードをご使用になる場合の操作方法について説明します。WindowsXPを例に説明していますので、OSによっては画面が異なることがあります。

なお、本ガイドでは各種設定画面までの操作手順のみ説明していますので、各画面での詳細の設定内容は各装置の取扱説明書と機能詳細ガイド(またはデータ通信ガイド)をご覧ください。

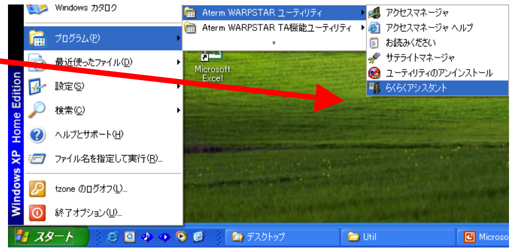
目次

1．ダイヤルアップモードの設定

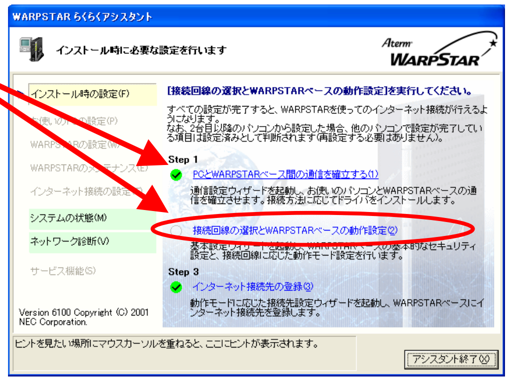
準備：①「WARPSTARらくらくアシスタント（Windowsの場合：Ver6.21,Macintoshの場合： Ver4.21 ）以降」を
パソコンにインストールしてください。
②WARPSTARを「ファームウェア（Ver6.02）以降」にバージョンアップしてください。

1．1　らくらくアシスタントのインストール時の設定

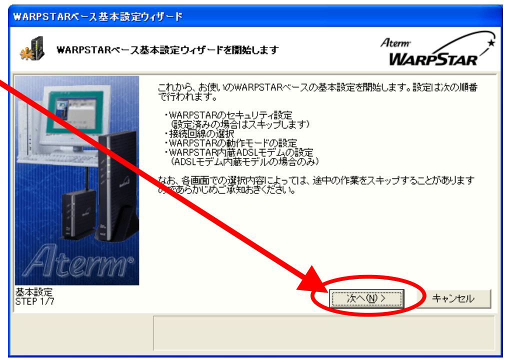
①Windowsの場合は、「スタート」→「プログラム」→「Aterm WARPSTARユーティリティ」→「らくらくアシスタント」を起動する。
Macintoshの場合は、「WARPSTARブロードバンド」フォルダの「WDらくらくアシスタント」アイコンをダブルクリックする。



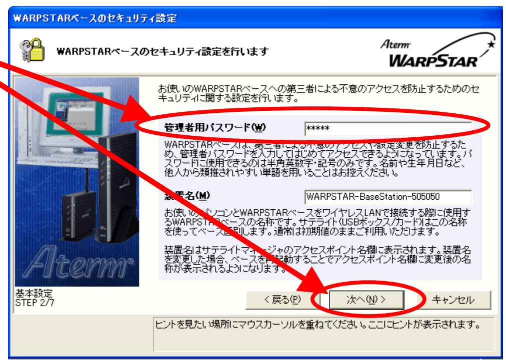
②「インストール時の設定」のStep1でドライバのインストールとパソコンの接続を確認する。
Step2に「レ」がない場合や、接続回線のモード選択を変更する場合は、Step2の「接続回線の選択とWARPSTARベースの動作設定」をクリックする。
すでにStep2が設定済み（「レ」マーク）になっている場合は1．2項の手順①へ進んでください。



③「次へ」をクリックする。

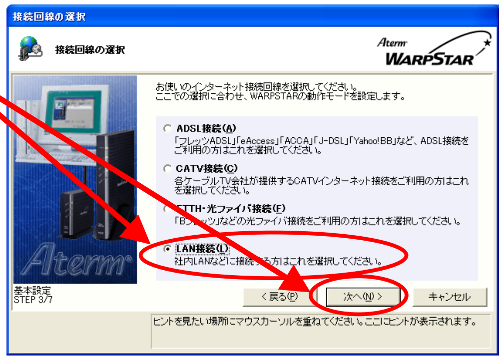


④「管理者パスワード」を入力して、「次へ」をクリックする。

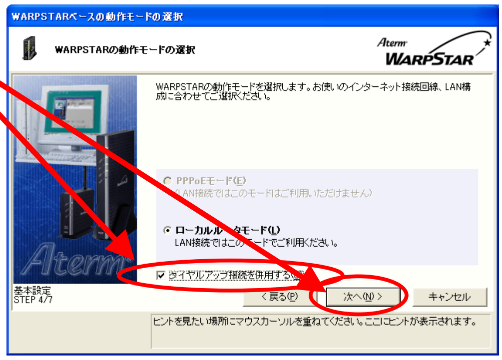


次項へ

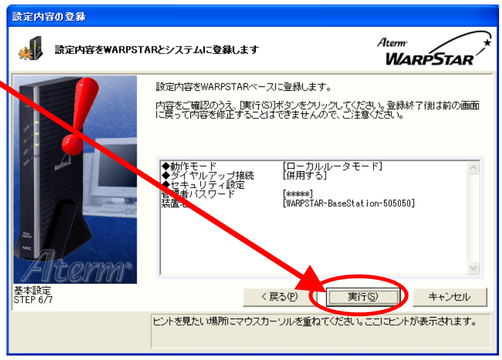
⑤使用する「インターネット接続回線」を選択し、「次へ」をクリックする。
注）「ダイヤルアップ接続」のみで使用する場合は、ここでは暫定的に「LAN接続」を選択してください。
「ダイヤルアップ接続」のみの設定に変更する必要がありますので、あとで1．3項の設定変更をしてください。



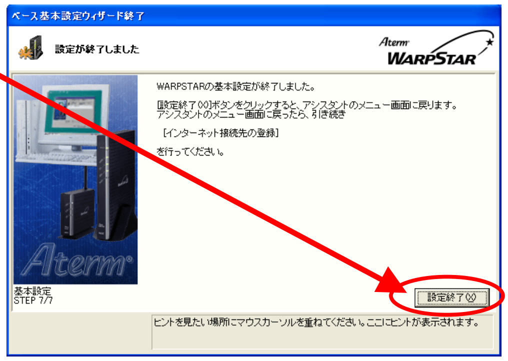
⑥「□ダイヤルアップ接続を併用する」に「レ」を入れて、「次へ」をクリックする。



⑦「実行」をクリックする。



⑦「設定終了」をクリックする。

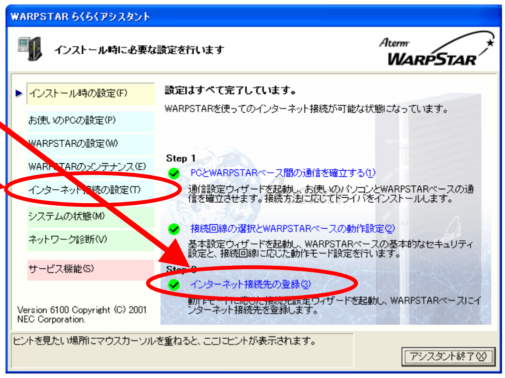


次項へ

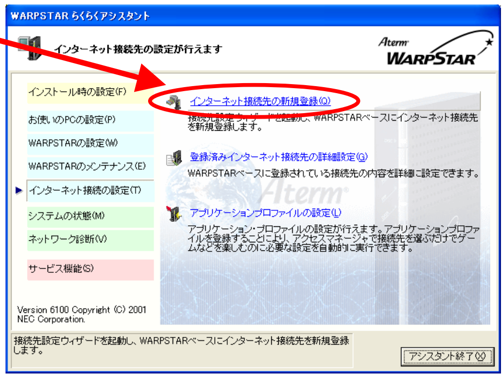
1．２ ダイヤルアップインターネット接続先の設定

①Step3の「インターネット接続先の登録」を選択し、接続モードにしたがった接続先情報の設定をする。
（インターネット接続先の登録の詳細はAtermWDR85FHの取扱説明書をご参照ください。）
注）「ダイヤルアップ接続を併用する」の設定の場合、ダイヤルアップの接続先は、「インターネット接続の設定」から登録します。

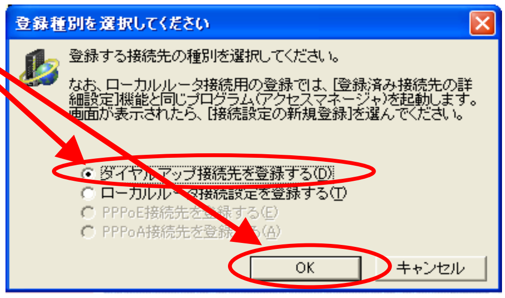
※以下、「ダイヤルアップ接続を併用する」の設定の場合の手順例を示す。「ダイヤルアップ接続」のみでご使用の場合は、Step3の「インターネット接続先の登録」をクリックしたあと手順④へ進みます。



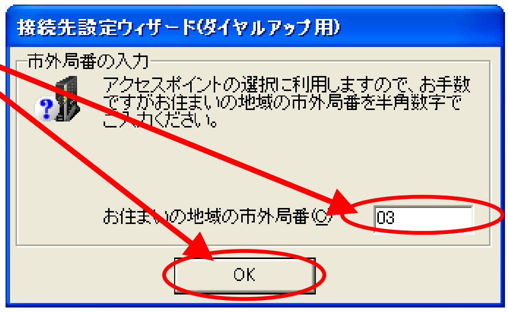
②「インターネット接続の設定」をクリックし、「インターネット接続先の新規登録」をクリックする。



③「ダイヤルアップ接続先を登録する」を選択して、「OK」をクリックする。

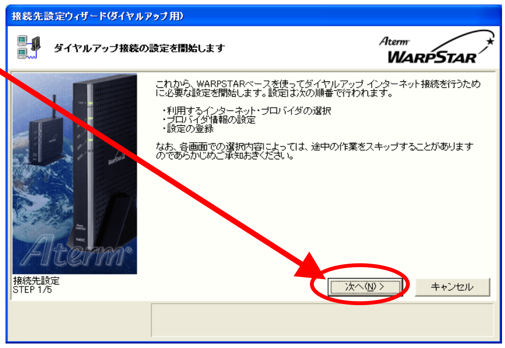


④市外局番を入力して「OK」をクリックする。



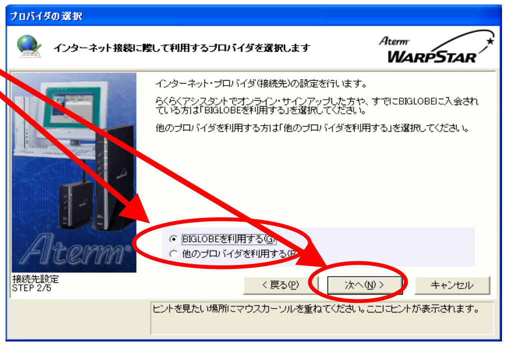
次項へ

⑤「次へ」をクリックする。



⑥プロバイダの選択をして、「次へ」をクリックする。

※以下、プロバイダの選択として「BIGLOBEを利用する」を選択した例で説明する。



⑦プロバイダ接続をするための情報を入力して、「次へ」をクリックする。

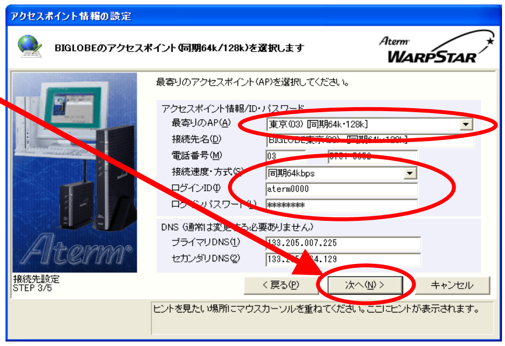
＞「最寄のAP」をプルダウンし、最寄のアクセスポイントを選択する。

（他のプロバイダの場合は、「接続先名」と「電話番号」を入力する。）

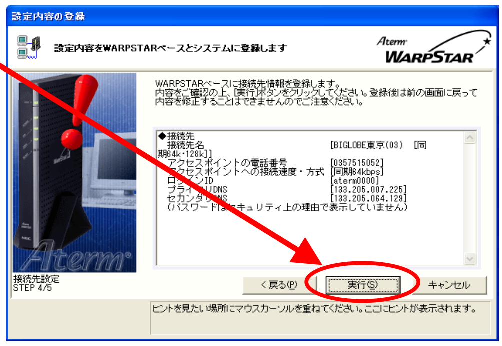
＞「接続速度・方式」は、通常「同期64kbps」を選択する。

＞「ログインID（ユーザID）」と「パスワード」を入力する。

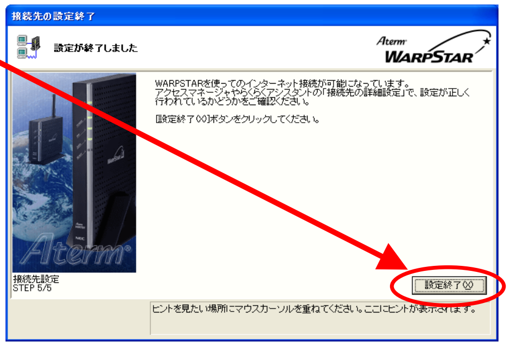
（「DNS」の設定が必要な場合は入力してください。）



⑧登録内容を確認して「実行」をクリックする。



⑨「設定終了」をクリックする。

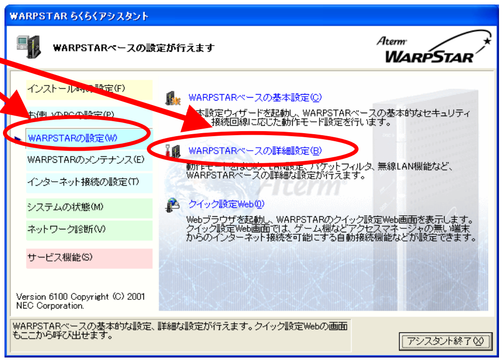


次項へ

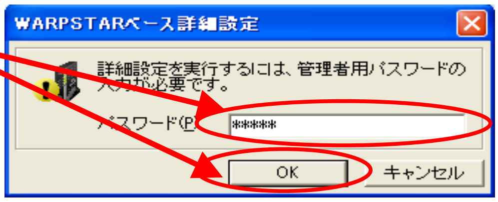
１．３ 「ダイヤルアップ接続を併用して利用する」から「ダイヤルアップ接続のみ」へ設定変更する場合

※「ローカルルータモード」または「ADSLモード」と「ダイヤルアップ接続」を併用して利用する場合は、以下の設定変更は不要です。

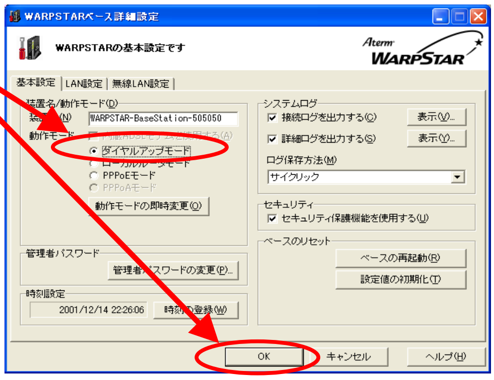
①「WARPSTARの設定」をクリックし、「WARPSTARベースの詳細設定」をクリックする。



②「管理者パスワード」を入力して、「OK」をクリックする。



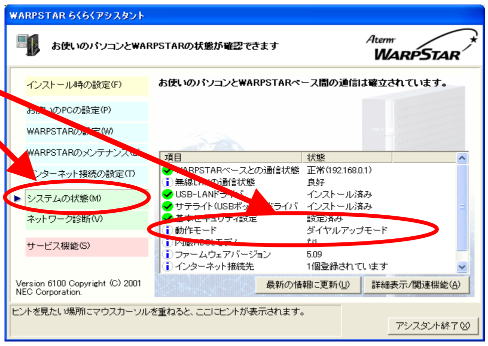
③「基本設定」タグの「動作モード」を「ダイヤルアップモード」に変更して、「OK」をクリックする。



④「OK」をクリックする。



⑤「システムの状態」をクリックして、「動作モード」が「ダイヤルアップモード」になっていることを確認する。



以上で「ダイヤルアップ接続」の設定は完了です。
アクセスマネージャのメニューから「ダイヤルアップ接続」をクリックしてインターネット接続をお試しください。

AtermWL50T/WB50T/WL30Aで「ダイヤルアップ接続のみ」でご使用になる場合の注意

らくらくアシスタント（Windowsの場合：Ver6.21,Macintoshの場合： Ver4.21 ）以降では、WARPSTARの基本設定の「接続回線の選択」として「ダイヤルアップモード」（ダイヤルアップ接続のみで使用するモード）の設定は「WARPSTARベースの詳細設定」からしか設定できません。

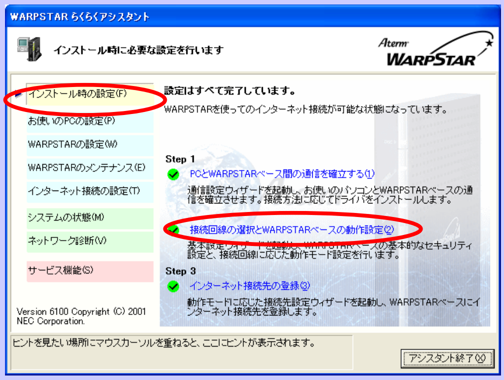
下記の2箇所の設定変更を行うと「ローカルルータモード（ダイヤルアップ接続の併用可）」または「ADSLモード（ダイヤルアップ接続の併用可）」のいずれかに設定されてしまいます。

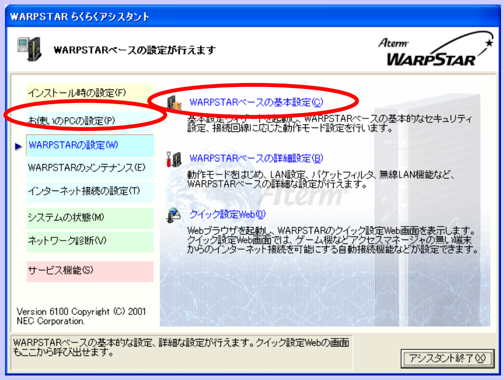
AtermWL50T/WB50T/WL30Aには、10BASE-TのEthernetポートがありますが、このポートは「ダイヤルアップモード」の場合はLAN側（パソコンを接続できるポート）と機能しますが、「ローカルルータモード」および「ADSLモード」の場合はWAN側（ブロードバンドモデムを接続するポート）に切り替わります。
（上記機種は、出荷時設定は「ダイヤルアップモード」になっています。）

したがって、「ダイヤルアップモード」の状態でパソコンとWARPSTARベースを10BASE-TのEthernetケーブルで接続してご使用になっている場合に、下記の2箇所の設定変更を行うと、設定登録の「実行」を行った瞬間にパソコンとの通信ができなくなりますのでご注意ください。
（設定登録の「実行」をクリックする直前までは「キャンセル」をクリックすることで設定変更を中断することができます。）

10BASE-TのEthernetポートにパソコンを接続してご使用中に、誤って上記の設定変更を「実行」してしまった場合は、WindowsパソコンでUSB-LANポートあるいはワイヤレスポート（AtermWL11C/WL11U）を使ってWARPSTARベースと接続して、前記1．3項の手順にしたがって「WARPSTARベースの詳細設定」から「ダイヤルアップモード」に戻してください。
または、WARPSTARベースを初期化して一から設定しなおしてください。

※WARPSTARΣシリーズ（AtermWB65DSL/WB55TL/WB45RL）では、100BASE-TX/10BASE-TポートのPC1ポートが同様の兼用ポートになっていますが、ワイヤレスの拡張カードスロットカバー内部の「WAN/PC切替スイッチ」によって切り替わりますので、「WAN/PC切替スイッチ」を「PC」側にしておけば、上記の問題は発生しません。





2．WB55TL/WL50T/WB50TのTA機能設定

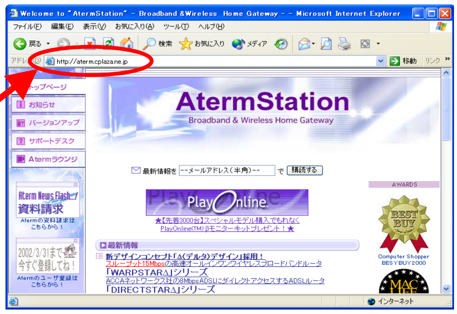
「らくらくアシスタント（Windowsの場合：Ver6.21,Macintoshの場合： Ver4.21 ）」は、ブロードバンドルータ（WARPSTAR⊿シリーズ）用に作られているため、TA機能の設定ユーティリティが含まれておりません。アナログポートの設定やTAデータ通信機能の設定などを行う場合は、別途「TA機能ユーティリティ」をインストールする必要があります。
この章では、「TA機能ユーティリティ」のインストール手順、TA機能の設定方法、TA機能ファームウェアのバージョンアップ手順について説明しています。

準備：①「らくらくアシスタント（Windowsの場合：Ver6.21,Macintoshの場合： Ver4.21 ）以降」の「システム状態」でWARPSTARとの接続状態が正常であることを確認してください。
②WARPSTARベースにINS64回線を接続してLINEランプが消灯していることを確認してください。

2．1　TA機能ユーティリティのインストール

①AtermStationのダウンロードページからご利用機種の「TA機能ユーティリティ」のインストールファイルを入手、実行する。
Windowsの場合は、②以下の手順に従う。
Macintoshの場合は、画面に従ってインストールする。

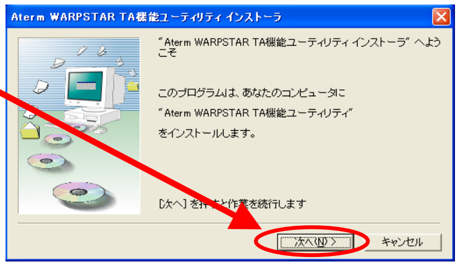
AtermStationのURL: http://aterm.cplaza.ne.jp



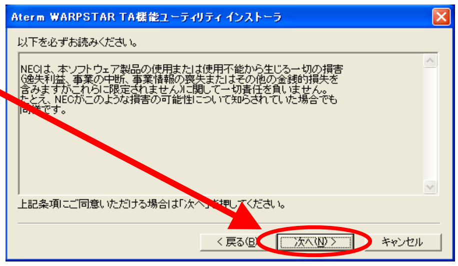
②インストーラが起動しますので、「次へ」をクリックする。



③「次へ」をクリックする。

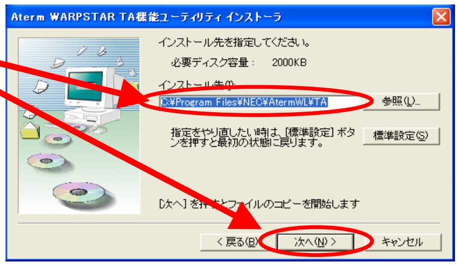


④条項を確認して、「次へ」をクリックする。

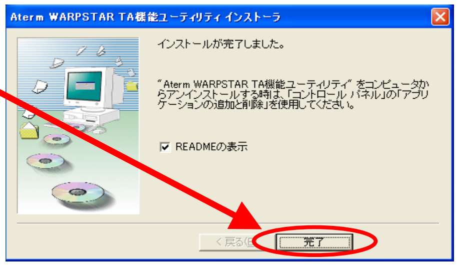


次項へ

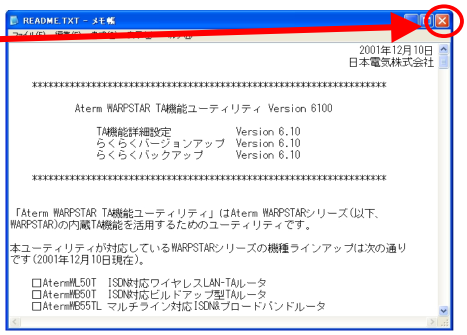
⑤インストール先を確認して、「次へ」をクリックする。



⑥インストーラが完了したら、「完了」をクリックする。



⑦READMEの内容をよくお読みください。
読み終わったら、右上の「×」でメモ帳を閉じる。

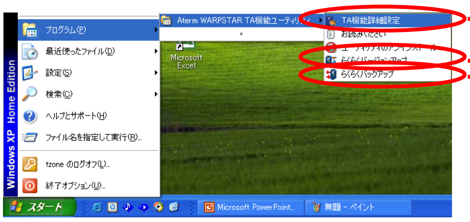


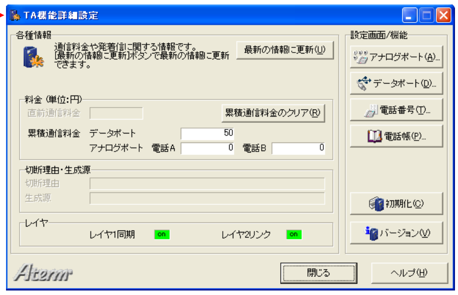
以上でTA機能ユーティリティのインストールは完了です。

２．２　TA機能ユーティリティの使い方

TA機能ユーティリティには、「TA機能詳細設定」「TA機能らくらくバージョンアップ」「TA機能らくらくバックアップ」が含まれています。
ここでは、各ユーティリティの起動と基本操作について説明します。各設定項目の詳細については、ご使用の機種の取扱説明書と機能詳細ガイド（またはデータ通信ガイド）をご覧ください。

Windowsの場合：「スタート」→「プログラム」→「WARPSTAR　TA機能ユーティリティ」　→「TA機能詳細設定」または「らくらくバージョンアップ」「らくらくバックアップ」をクリックする。
Macintoshの場合：「Aterm WARPSTAR TAユーティリティ」フォルダの「TA詳細設定」「TAバージョンアップ」「TAバックアップ」をダブルクリックする。

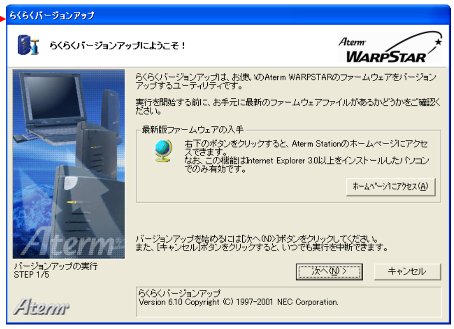




（1）「TA機能詳細設定」

「アナログポート」の設定や「データポート」の設定、「電話番号」「電話帳」など「TA機能」の各種設定や登録ができます。

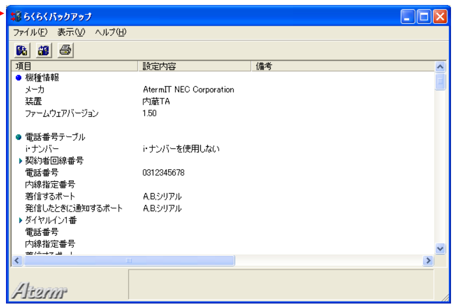
詳細は（1）項をお読みください。



（2）「TA機能らくらくバージョンアップ」

「TA機能ファームウェア」のバージョンアップができます。

詳細は（2）項をお読みください。

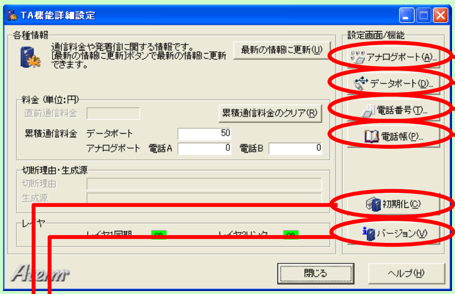


（3）「TA機能らくらくバックアップ」

「TA機能」の設定内容の確認や「設定値の保存」「設定値の復元」「プリンタ出力」などができます。

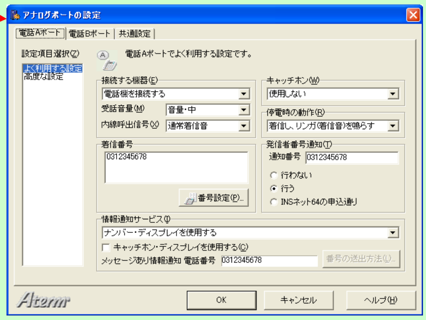
詳細は（3）項をお読みください。

（1）「TA機能詳細設定」の各機能の設定



「TA機能ユーティリティ」や「TA機能ファームウェア」のバージョン情報を表示します。

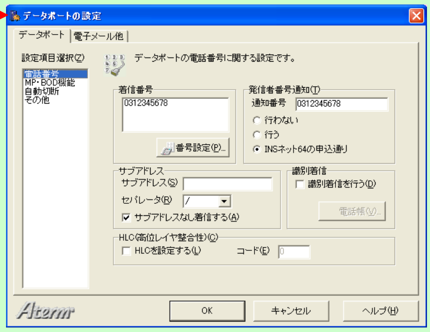
「TA機能」の各種設定を工場出荷時状態に初期化します。
注）TA機能以外の設定は初期化されません。



①「アナログポート」の設定

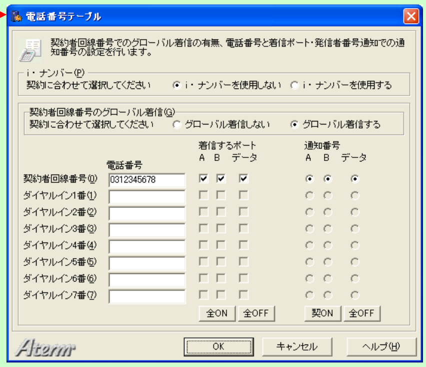
「電話Aポート」「電話Bポート」「共通設定」の各種設定を行います。

（注意）
電話Bポートに電話機を接続しないでご利用になる場合には、電話Bポートの「接続する機器」を「何も接続しない」にしてください。



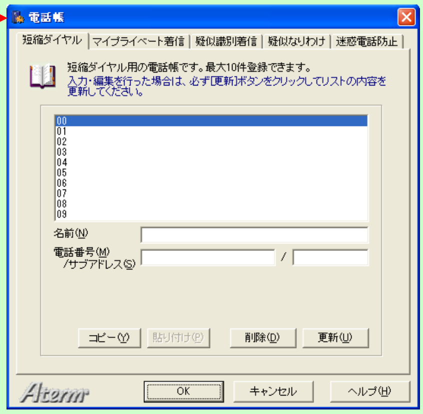
②「データポート」の設定

「MP/BOD設定」「自動切断」「電子メール設定」などの各種設定を行います。



④「電話番号」の設定

「発信者通知番号」「着信番号」「ダイヤルイン番号」などの登録を行います。

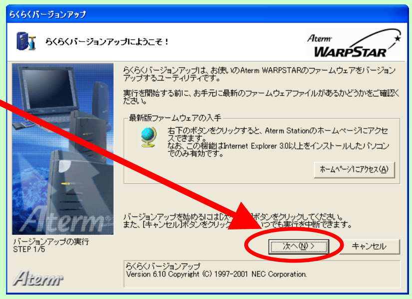


⑤「電話番号」の設定

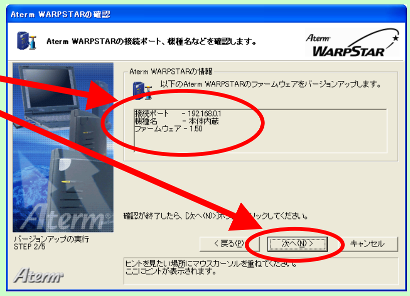
「短縮ダイヤル」「マイプライベート着信」「擬似識別着信」「擬似なりわけ」「迷惑電話防止」などの登録、設定を行います。

（2）「TA機能らくらくバージョンアップ」の操作手順

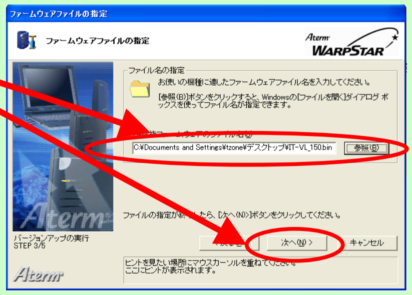
①「スタート」メニューから「らくらくバージョンアップ」を起動すると右の画面になります。「次へ」をクリックする。



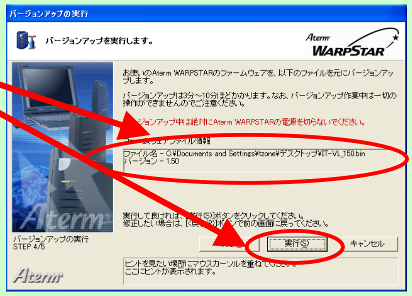
②「接続ポート」「機種名」「ファームウェア」のバージョンなどを確認して、「次へ」をクリックする。



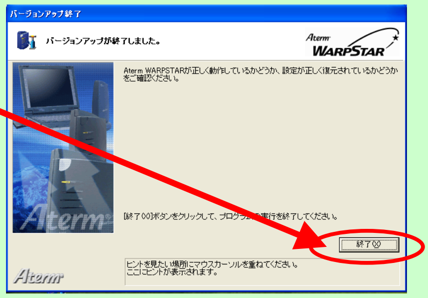
③「参照」をクリックして、AtermStationのバージョンアップコーナーなどから入手した「TA機能ファームウェア」のファイルを指定して、「次へ」をクリックする。



④バージョンアップする「TA機能ファームウェア」のファイル名やバージョンを確認して、「次へ」をクリックする。



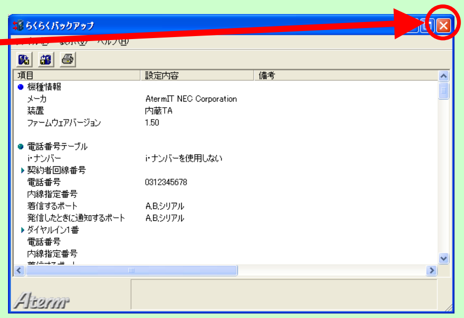
⑤バージョンアップの進行状況を示す画面が表示されるので右の完了画面がでるまでお待ちください。
（約2～3分かかります。）
右の画面がでたら、「終了」をクリックする。



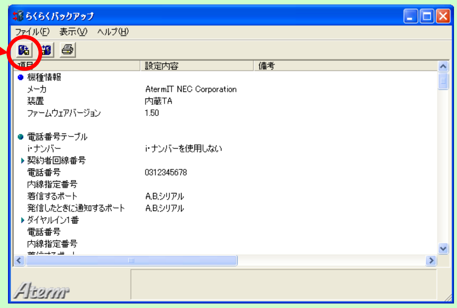
完了

（3）「TA機能らくらくバックアップ」の操作手順

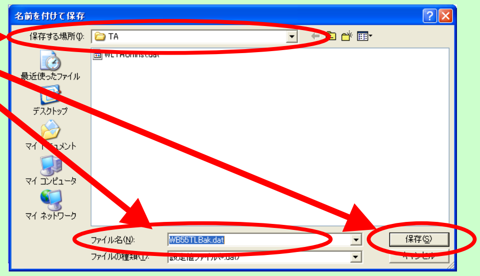
①「スタート」メニューから「らくらくバックアップ」を起動すると右の画面になります。
画面をスクロールしてTA機能の各種設定状態確認できます。終了する場合は、右上の「×」をクリックしてください。



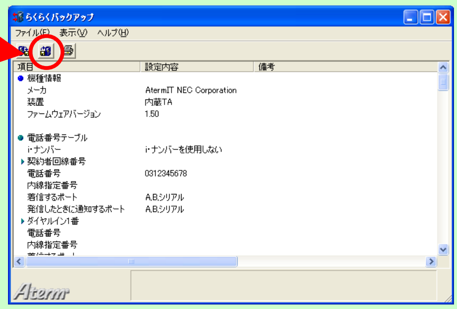
②TA機能の設定値を保存したい場合は、「保存」のボタンをクリックする。



③「保存する場所」から保存するフォルダを指定し、「ファイル名」を入力して「保存」をクリックする。



④②～③で保存してある「TA機能の設定値」をWARPSTAR本体へダウンロードして復元したい場合は、「復元」のボタンをクリックする。



⑤「ファイルの場所」から保存されているdatファイルのフォルダを指定し、「ファイル名」を入力して「開く」をクリックする。

